

周辺環境対策及び地域要望対応の考え方

施設からの環境影響を極力防止するとともに、敷地を取り巻く歴史的、自然的条件と調和した施設を計画し、周辺環境対策を充実させます。また、地域要望に対応した事業とするため、永年培ってきた周辺住民・市民との信頼関係の更なる向上を図ることとします。

1 周辺環境対策

(1) 環境影響を極力防止します。

○ 煙突排ガスについては、法による規制基準値より厳しい自主基準値を定め、更に低減した運転管理値を目標として操業します。

また、操業中は、排ガス及び周辺地域の環境測定を行い、ごみ焼却施設の安全・安心操業を確保します。

なお、排ガスの測定結果や炉操業状況等は常時外部から見やすい位置に表示します。

排ガス状況表示盤の例



- 騒音発生原因となる機器類は建物内部の防音構造の部屋に設置し、騒音防止を図ります。また、振動の発生原因となる機器類は建物内部の堅固な基礎に設置し、振動防止を図ります。
- ごみピットは搬出入口以外を気密構造とし、ごみ搬入時はエアカーテンにより悪臭の漏洩を防止する構造とします。ごみピット内の悪臭は燃焼用空気として吸引し、高温燃焼により分解します。炉が停止している期間は脱臭装置を介して吸引排出します。また、ごみ搬入車は退出時に洗車可能とします。

他施設（エアカーテン）の例



(2) 周辺道路の交通安全を図ります。

清掃関連車両の出入口は一般車両や自転車、歩行者の安全に配慮した位置に設け、道路の見通しを良くする緑化や建物配置を工夫します。

また、走行ルートは松の木通りに限定し、速度遵守、歩行者等の安全に最大限配慮します。

(3) 歴史的、自然的条件との調和

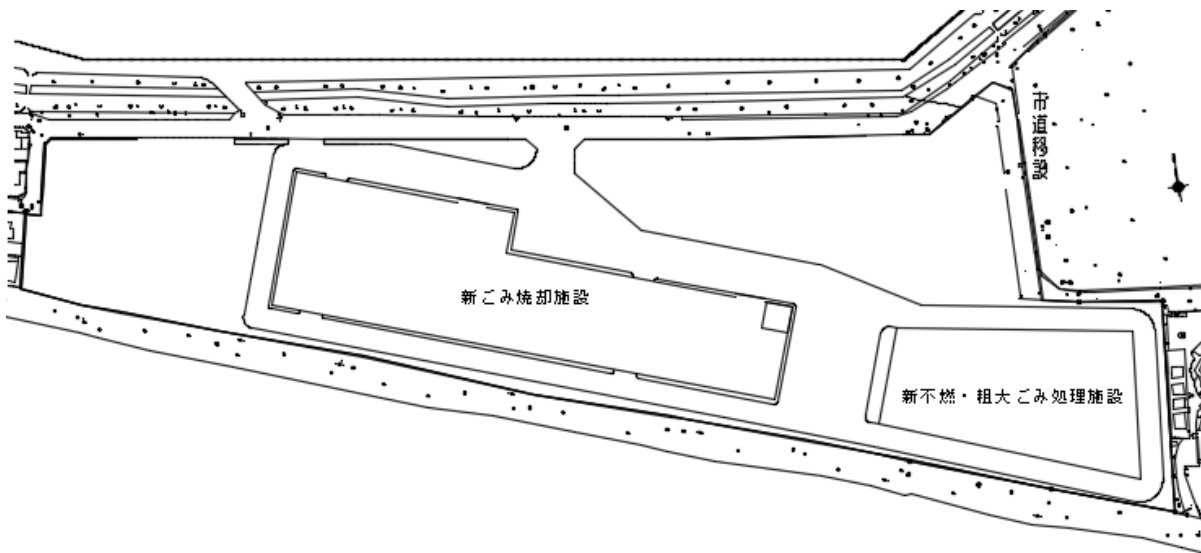
- 施設建物は、玉川上水や野火止用水の歴史的な景観や武蔵野の面影を残す雑木林などに調和したデザイン、色彩に配慮して計画します。

他施設の建物外観(ベランダ緑化)の例



- 工場棟、管理棟、計量棟等の施設建物の配置を計画するにあたっては、極力オープンスペースを設け、周辺の自然景観と調和した緑化やイベント開催エリア等の配置に配慮し、憩いや交流の場を創出します。

施設全体配置計画の一例



環境測定結果及び運転状況(ごみ処理量、搬入車両台数、炉運転状況等)等については、定期的な連絡協議会において報告するとともに、当組合ホームページにおいて公表します。

なお、施設の配置、建物計画にあたっては、歴史的、自然的条件と調和したデザイン、色彩に配慮するとともに、周辺の自然景観と調和した憩いや交流の場を創出することとし、今後、皆様から頂いたご意見を参考として、施設整備基本計画に反映するとともに、請負業者選定の中で要求水準書に示し、請負業者から詳細な提案を求めることとします。

2 地域要望対応

(1) 永年培ってきた周辺住民・市民との信頼関係の更なる向上を目指します。

○ 定期的に連絡協議会を開催します。

平成 10 年 10 月に周辺住民、組織市職員、当組合職員を構成員として連絡協議会を設置し、当組合のごみ処理事業について相互の意見交換及び連絡調整を図ってきました。

引き続き、施設の運営状況や施設整備事業について意見交換や要望等を伺い、信頼関係の向上に努めます。

○ 周辺住民や組織市住民と更なる交流を図ります。

毎年えんとつフェスティバルを開催し、周辺住民や組織市住民と交流を重ねています。そのほか周辺の自治会主催の行事等に積極的に参加するなど、地域に根差した交流を通じて当組合の事業へのご理解を頂いております。

今後は、要望等を踏まえ、施設見学会、環境学習に関する講演会やイベント等の交流事業を開催し、信頼関係の向上に努めます。

なお、敷地内にえんとつフェスティバルやイベント等の開催エリアを確保します。

(2) こもればの足湯はより一層快適に利用頂けるよう努めます。

こもればの足湯は、ごみ処理事業の普及啓発と地域コミュニティの活性化を目的として、平成 19 年 4 月から運営しています。本施設は、焼却施設の余熱と天然水(井水)を活用した施設として、地域の皆様に御利用頂いております。

今後も、地域の皆様の要望等を踏まえ、より一層快適に利用頂けるよう努めます。

今後は、皆様から頂いたご意見を参考として、施設整備基本計画に反映するとともに、請負業者選定の中で要求水準書に示し、請負業者から詳細な提案を求めることとします。